

2020年7月31日

各位

株式会社 紀陽銀行

「近畿中部広域復興支援ファンド」への出資について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）の子会社などが設立・運営する「近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）への出資を決定し、本日組合契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、新型コロナウイルス感染症等の影響により経営環境が悪化した事業者の復興および事業再生等を早期に実現するため、投資対象地域の事業者や地域経済の活性化に資する事業をおこなう事業者等に対し、過剰債務の解消、必要資金の提供および人的支援をおこないます。

紀陽銀行は、本ファンドへの出資を通じ、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けられた地域の事業者さまへのサポートを強化することで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称	近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合
ファンド総額	3,280百万円（うち当行出資額200百万円）
設 立 日	2020年7月31日（金）
存 続 期 間	10年間
業 務 運 営 者	REVIC キャピタル株式会社、株式会社 AGS コンサルティング
投資対象地域	富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
投 資 対 象	<ul style="list-style-type: none"> 投資対象地域に本店または主要事業拠点を有しており、新型コロナウイルス感染症または災害により経営環境が悪化した事業者 投資対象地域の地域経済の活性化に資する事業をおこなう事業者

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

